

# 令和元（2019）年度クリーニング師試験

## 学 科 試 験 問 題

- 1 問題数は、「衛生法規に関する知識」10問、「公衆衛生に関する知識」10問、「洗たく物の処理に関する知識」10問の計30問です。
- 2 各問ともア～ウの3つの中から正解を1つ選び、解答用紙の該当する記号を○で囲みなさい。

(例)

学科試験問題

1 次のうち、栃木県の県庁所在地はどれか。

ア 日光市

イ 宇都宮市

ウ 栃木市

解答用紙

1 ア  イ ウ

※ 2つ以上の記号を○で囲んだ場合、得点となりません。

栃 木 県



## 衛生法規に関する知識

- 1 次のクリーニング業法第1条（目的）の条文のA～Cにあてはまる語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

この法律は、クリーニング業に対して、公衆衛生等の見地から必要な（ A ）を行い、もってその経営を（ B ）に適合させるとともに、（ C ）の擁護を図ることを目的とする。

	A	B	C
ア	指導及び取締り	公共の福祉	利用者の利益
イ	普及及び啓発	会計の基準	利用者の利益
ウ	指導及び啓発	公共の福祉	営業者の権利

- 2 次のクリーニング業に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- ア 衣類その他の繊維製品又は皮革製品を原型のまま洗たくする営業は、クリーニング業に該当しない。
- イ リネンサプライ業（繊維製品を使用させるために貸与し、その使用済み後はこれを回収して洗たくし、さらにこれを貸与することを繰り返して行うこと）は、クリーニング業に該当しない。
- ウ 洗たくをしないで洗たく物の受取及び引渡しをする、いわゆる取次店はクリーニング業に該当しない。

- 3 次のクリーニング業法第3条（営業者の衛生措置等）に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- ア 営業者がクリーニング師であれば、クリーニング所以外において、営業として洗たく物の処理ができる。
- イ 脱水機の効用をも有する洗たく機を備える場合を除き、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、洗たく機及び脱水機をそれぞれ少なくとも2台備えなければならない。
- ウ 洗たく物は、洗たく又は仕上げを終わったものと終わらないものに区分しておかなければならない。

4 次のA、B、Cのうち、指定洗たく物（伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして厚生労働省令で指定する洗たく物）として定められているものはどれか。なお、選択肢の洗たく物は全て、営業者に引き渡される前に消毒されていないものとする。

- A 旅館又はホテルで宿泊のために使用されたシーツ
- B 病院又は診療所で療養のために使用された枕カバー
- C 家庭で介護のために使用されたオムツ

ア AとB

イ BとC

ウ AとC

5 次のクリーニング業法における利用者に対する説明義務等に関する記述のうち、正しいものはどれか。

ア クリーニング所において、苦情の申出先を店頭に掲示しておけば、洗たく物の受取及び引渡しをしようとする際に、苦情の申出先を記載した書面を利用者に配布しなくてよい。

イ 無店舗取次店において、苦情の申出先となるクリーニング所又は無店舗取次店の名称、クリーニング所の所在地又は車両の保管場所並びに電話番号を車両に明示しなければならない。

ウ 苦情の申出先を記載した書面は、クリーニング所の名称、所在地及び電話番号が記載されている「領収書」又は「預り証」でよいこととされている。

6 次のクリーニング師の設置に関する記述のうち、正しいものはどれか。

ア 洗たく物の受取及び引渡しのみを行うクリーニング所においては、クリーニング師を置かなくてもよい。

イ 営業者がクリーニング師であっても、営業者以外に必ず1人以上のクリーニング師を置かなければならない。

ウ 無店舗取次店を営業する場合、必ず1人以上のクリーニング師を置かなければならない。

- 7 次の営業者の届出に関する記述のうち、正しいものはどれか。
- ア 無店舗取次店を営業する場合は、営業開始後に都道府県知事に届け出ればよい。
  - イ 営業者の地位を承継した者は、遅滞なく、その事実を証する書面を添えて、その旨を都道府県知事に届け出なければならない。
  - ウ クリーニング所の営業を廃止する場合は、廃止しようとする1か月以上前に都道府県知事に届け出なければならない。
- 8 次のクリーニング師の免許に関する記述のうち、正しいものはどれか。
- ア クリーニング師免許の交付を受けようとする者は、クリーニング師試験に合格した都道府県に申請しなければならない。
  - イ クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、1か月以内に免許を取得した都道府県に免許証の訂正の申請をしなければならない。
  - ウ クリーニング師が死亡し、又は失そうの宣告を受けたときは、その家族は1年以内に免許を取得した都道府県に対して免許証を返納しなければならない。
- 9 次のクリーニング業法で定めるクリーニング師の研修及び業務従事者講習に関する記述のうち、誤っているものはどれか。
- ア クリーニング師は、業務に従事してから1年以内に研修を受け、その後は3年を超えない期間ごとに研修を受けなければならない。
  - イ 営業者は、クリーニング所の開設後1年以内に、当該クリーニング所の従事者全員に都道府県知事が指定した講習を受けさせなければならない。
  - ウ クリーニング業法に規定する研修を受けたクリーニング師は、同法に規定する業務従事者講習を受けたものとみなされる。
- 10 次の記述のうち、都道府県知事がクリーニング師の免許を取消することができる場合として、正しいものはどれか。
- ア クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して罰金以上の刑に処せられたとき。
  - イ 営業者がクリーニング業法に基づく措置命令に従わず、営業停止の命令を受けたとき。
  - ウ クリーニング師が伝染性の疾病に罹患したとき。

## 公衆衛生に関する知識

- 1 次の世界保健機関（WHO）の憲章で述べられている健康の定義で、A及びBにあてはまる語句の組合せのうち正しいものはどれか。

健康とは、肉体的、精神的及び（ A ）に完全によい状態にあることであり、単に疾病又は（ B ）ないということではない。

A		B
ア 経済的	－	貧困で
イ 社会的	－	虚弱で
ウ 医学的	－	障害が

- 2 次の感染症と主な感染経路の組合せのうち、正しいものはどれか。

(感染症)		(感染経路)
ア デング熱	－	蚊による感染
イ 中東呼吸器症候群（MERS）	－	寄生虫による感染
ウ エイズ	－	飲食物・水による感染

- 3 次のセレウス菌に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- ア セレウス菌は毒性が強く、健常者であっても多くの場合菌血症を引き起こす。
- イ セレウス菌が形成する芽胞は、熱やアルコールに抵抗性がない。
- ウ 病院リネンを介したセレウス菌の集団感染事例がある。

- 4 次のインフルエンザに関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア 感染力が強いため、マスクの着用や咳エチケットなど飛沫感染対策が重要である。
- イ インフルエンザの流行前のワクチン接種は、発症する可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぐ。
- ウ 湿度が高くなると、のどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなる。

- 5 次のクリーニング所にかかる規制に関する記述のうち、正しいものはどれか。
- ア ドライクリーニング機械から排出される排液は、水質汚濁防止法及び下水道法に基づいて適正に処理し、公共水域、公共下水道などに排出しなければならない。
  - イ 引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場を新たに建築する場合、商業系地域であれば立地できる。
  - ウ クリーニング業で使用されるテトラクロロエチレン、ふっ素系溶剤は揮発性があるため、地下浸透防止の対策は必要ではない。
- 6 次のテトラクロロエチレンに関する記述のうち、正しいものはどれか。
- ア クリーニング所で使用されたテトラクロロエチレンなどを含む廃油等の廃棄物は特別管理産業廃棄物に分類される。
  - イ テトラクロロエチレンの使用方法については、水質汚濁防止法により、管理要領を定めて点検を行い、その結果を点検表に記録し、1年間保存することが義務付けられている。
  - ウ テトラクロロエチレンは光化学オキシダントや微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）の原因物質であるが、人に健康被害をきたすおそれがない物質である。
- 7 次のクリーニング店における感染症対策に関する記述のうち誤っているものはどれか。
- ア 営業者は、感染症が流行している時期には、少しでも罹患の疑いのある従業員に対して、自ら進んで健康状態を申告することを徹底し、医療機関での受診を勧める。
  - イ 洗たく前の汚れた委託物に触れる場合は、マスクとエプロンの着用と接触前の手洗いが重要である。
  - ウ 多くの微生物は湿度の高い環境で増殖しやすいため、洗たく物は乾燥状態で保管すべきである。
- 8 次の記述のうち、クリーニング所における衛生管理要領において、消毒効果を有する洗たく方法となる工程として正しいものはどれか。
- ア 洗たく物を80℃以上の熱湯で1分間処理する工程。
  - イ さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素100ppm程度の液に30℃以上で5分間以上浸し、終末遊離塩素10ppm以上になるような方法で漂白する工程。
  - ウ 四塩化（パークロル）エチレンに5分間以上浸し洗たくした後、四塩化エチレンを含む状態で50℃以上に保たせ、10分間以上乾燥させる工程。

9 次のフロンに関する記述のうち、正しいものはどれか。

ア 特定フロンであるHFC-365mfc（ソルカン）には製造・輸入規制はかからない。

イ 2015年にクリーニングの洗浄剤は全てノンフロンとなった。

ウ 地球上で使用されたフロンはオゾンホール拡大の原因となっている。

10 次の特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）に基づく化学物質排出移動量届出制度（PTR制度）についての記述で、A～Cにあてはまる語句の組合せとして正しいものはどれか。

事業者として常用雇用者数（ A ）以上でテトラクロロエチレンなど第1種指定化学物質の年間取扱量が（ B ）以上であるクリーニング所は、環境中に排出した第1種指定化学物質の量と、廃棄物等として処理するため事業所の外に移動させた量とを、年1回都道府県知事を経由して（ C ）に届け出ることとなっている。

	A		B		C
ア	10人	－	5トン	－	厚生労働大臣
イ	21人	－	1トン	－	厚生労働大臣
ウ	1人	－	10kg	－	環境大臣

## 洗たく物の処理に関する知識

- 1 次の繊維の種類とクリーニング性に関する記述のうち、正しいものはどれか。
  - ア 綿・麻は、ランドリー及びウエットクリーニングで処理可能だが、ドライクリーニングでは収縮しやすいため処理できない。
  - イ 絹は、水で収縮や毛羽立ちが起きにくいいため、ランドリーで処理を行う。
  - ウ アセテートは、水で艶・光沢変化やシワが発生しやすいため、ランドリーでは処理できない。
  
- 2 次の織物とニットの性質について比較した記述のうち、正しいものはどれか。
  - ア 織物はニットに比べ、W&W性（ウォッシュ・アンド・ウェア性）が小さい。
  - イ 織物はニットに比べ、シワができにくい。
  - ウ 織物はニットに比べ、ピリングがしやすい。
  
- 3 次の繊維加工に関する記述のうち、誤っているものはどれか。
  - ア ワッシャー加工（ウォッシャー加工）は、着古し感を与えるための製品洗い加工であるが、薄起毛加工製品は毛羽が乱れ、毛羽脱落が発生することがあり、注意が必要である。
  - イ プリーツ加工は、布に折り目やヒダをつける加工だが、モヘヤなどの場合、再々プレスセットを強く行くと折り目部分の生地が傷み、破損してしまうことがある。
  - ウ フロック加工は、合成繊維の欠点である低い吸湿性や吸汗性を向上する加工だが、着脱で静電気が起き、ほこりがつく原因となる。
  
- 4 次の取扱いに注意が必要な素材等に関する記述のうち、正しいものはどれか。
  - ア アラミド繊維は、金属繊維の一種で強度や難燃性、耐熱性に優れることから消防服や防弾チョッキなどに使用されている。
  - イ 人工皮革は、基材に特殊不織布を用いたもので、樹脂加工品であり、石油系溶剤処理が望ましい。
  - ウ SUPER表示ウールは、織度（繊維の太さ）の太い原毛を使用した毛織物のことで、通常の毛織物よりフェルト化などが生じにくい。

5 次のシミ抜きに関する記述のうち、正しいものはどれか。

ア シミ抜きは、①水溶性処理、②油性処理、③漂白処理、④酵素処理の順に行う。

イ 油性のシミ抜きには、モノクロロベンゼン、アセトン、酢酸アミルなどを使用するが、ドライソープを混合すると更に効果的である。

ウ 水溶性のシミのうちタンパク系のシミには酸性のシミ抜き剤、タンニン系のシミには、アルカリ性のシミ抜き剤を使用する。

6 次のうち、汚れの種類がすべて水溶性汚れであるものはどれか。

ア 汗、たんぱく質、アルコール、塩

イ 尿、脂肪酸、糖類、色素

ウ 化粧品、果汁、墨汁、デンプン

7 次の繊維素材とアイロンの上限温度（J I S L 0 0 0 1）の組合せのうち、誤っているものはどれか。

ア 綿 200℃

イ 絹 150℃

ウ ポリ塩化ビニル 110℃

8 次のドライクリーニングに関する記述のうち、誤っているものはどれか。

ア ドライクリーニングの際に洗たく物のポケット内にライターが入っていると、石油系溶剤を使用している工場では、爆発火災が起きる危険がある。

イ チャージシステムにおけるソープ濃度は5%～10%が適当である。

ウ 溶剤と洗たく物はともに湿度を70～75%に常に管理していないと水溶性汚れの除去が悪くなる。

9 次のウェットクリーニングに関する記述のうち、正しいものはどれか。

ア 素材へのダメージを抑えることを優先するため、一般に洗浄性が低い。

イ 絹素材で汗ジミのあるブラウスは、ウェットクリーニングの対象とならない。

ウ 油性汚れは、ドライクリーニングの50%程度しか除去できない。

10 次の皮革のクリーニングに関する記述のうち、正しいものはどれか。

ア 皮革は、汚れやシミが深部まで浸透しにくいいため、落としやすい。

イ 仕上げは、人体プレス機を使用し、60～70℃で蒸気量を少なめにして短時間処理をする。

ウ ドライ溶剤での処理よりも、水洗い処理の方が収縮が起きにくい。